

No.015 (不定期刊)

“Great Wall” Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社。本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職

旅は道連れ 世は情け

中国は航空大国だ。2018年の旅客輸送量(国内線)は5億4800万人。前年比で10.5%増えた。24～25年には米国を抜いて世界最大の航空市場になるとされる。一方、空の旅では様々な出来事やトラブルが起きる。その一つが遅延だ。

★ ★ ★ ★ ★

悪名高い中国国内線の遅延。2時間や3時間の遅れはザラだ。空港で昼食どころか夕食までとるハメになるなど、半日以上身動きできない事態もままある。公式発表では、18年の平均遅延時間は15分で、前年の24分から改善。ただ、運悪く数時間の遅延に遭遇するとこのようなデータは吹っ飛んでしまう。

遅延の理由の過半は天候によるもの。大雨、雷、強風、霧……。国土が広い中国では、出発地は晴天でも、到着地が悪天候でなかなか飛べないということもよくある。重慶や大連は霧が原因となることが多く、広州や深センなどの華南エリアは豪雨や雷の影響を受けやすい。PM2.5などのスモッグも各地でフライトの邪魔をする。また、そもそも飛んでいる飛行機が多いため、時に「航空管制」がかけられる。軍事演習による空域使用制限もあるようだ。

中国では、飛行機の出発時間は「ドアが閉まった時」と規定されている。航空会社は、「公式記録」上は遅延にならないよう、とにかく時間までに客を乗せてドアを閉めてしまうことがある。私が経験したのは、出発準備完了後も飛行機が駐機場にとどまったままという事態。そうこうしているうちに、飛ばない機内で機内食が配られた。結局、飛び立ったのはそれから3時間後。この“待ち時間”



思いがけず見知らぬ人々と円卓を囲んで食事をする羽目に……私はこの中で唯一の外国人

は一体何だったのだろうか……。

さて、空港で待ちぼうけを食らうと、当然のように乗客はイライラしてくる。中国人客は地上係員に鬼気迫る顔で文句をぶちまける。しかし、航空会社側もそこら辺は慣れたもの。乗客の怒りがピークに達しそうなとき、ワゴンでさっと食事が運ばれてくる。その気配を察した乗客は、今度は静かに行列をなして弁当をゲットする。定番は「鶏排飯(鶏の骨付き肉のぶっかけ飯)」だろうか。これにコーラとバナナが付けば最高だ。さっきまで怒り心頭だった客は、皆笑顔で弁当を平らげる。現金なものである。

先日、とある地方空港で遭遇した一件。遅れがひどくなりそうなので、航空会社は乗客を一旦ホテルで休憩させることにした。ただ、用意されていたのはツイン部屋のみ。1人旅の私は、問答無用で見知らぬ上海人のおじさんと相部屋になった。部屋では一瞬まずい空気が流れたが、これを解決するのも食事。さびれたホテルの食堂で赤の他人の乗客たちと円卓を囲み、航空会社が用意した即席ディナーを楽しんだ。まさに「旅は道連れ、世は情け」である。

★ ★ ★ ★ ★

いやはや、想像できないことが起きる中国の空の旅です。前述のフライトは、結局予定時刻から8時間遅れて飛んだのですが、出発前に航空会社から思わぬサプライズ。200元(約3200円)のキャッシュバック(お見舞金?)があったのです。登場口横の臨時カウンターに、現金を求めてこれまた笑顔の行列ができました。日系エアラインではミールクーポンでしょうが、中国では現金とつばらい!“ニコニコ明朝会計”がいいですね。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号
 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入

外国証券等について

・外国証券は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

① 国内株式の手数料等およびリスクについて

・国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2420%（税込み）、最低3,240円（税込み）（売却約定代金が3,240円未満の場合、約定代金相当額）の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 外国株式等の手数料およびリスクについて

・外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8640%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い仕切価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い仕切価格との差がそれぞれ原則として2.75%（手数料相当額）となるように設定したものです。当該仕切価格には手数料相当額が含まれています。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料を掲載後、掲載された銘柄を対象としたEB等を東洋証券（株）が販売する可能性があります。

東洋証券（株）および同関連会社、またその役職員はこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券（株）が各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券（株）は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

なお、東洋証券（株）および同関連会社の役職員またはその家族がこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

この資料の著作権は東洋証券（株）に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

東洋証券株式会社

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1
 TEL 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2019年5月21日
 審査部審査済